

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	2 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画	<input type="checkbox"/> 利用前には、口頭及び文書で情報を伝達するようにし、職員へは申し送り事項の確認の徹底と文書保管場所の周知を行います。 <input type="checkbox"/> 研修やOJT(日常業務内での教育)を通して、情報の確認のポイントや課題の捉え方などに差が生じないようにしていきます。 <input type="checkbox"/> 新しい利用者の情報については、ケアカンファレンスの中で共有するようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果	<input type="checkbox"/> 研修やOJT(日常業務内での教育)を通して、職員の知識と能力の向上に努めることができました。新しい利用者の情報の共有について文書を使用して行いましたが、共通認識が不十分なことがありました。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	12 人	1 人	— 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1 人	12 人	1 人	— 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	9 人	1 人	— 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	10 人	1 人	— 人	14 人

できている点	<p>① 計画作成担当者が中心となって事前面談を実施し、収集した情報を利用前に職員へ文書及び、ミーティングで情報共有することができています。</p> <p>② 本人や家族の希望とニーズから目標を設定し、サービス計画書の中で目標に向けたケアの内容を具体的に記載し、実践することができています。</p> <p>③ 環境の変化による本人の不安を受容し、新しい環境への適応や人間関係の再構築のための支援として、積極的に声掛けをしています。</p> <p>④ 面会や電話等の機会を通じて、利用中の様子を家族へ報告しながら家族の不安にも耳を傾けることで、信頼関係の構築に努めています。</p>
--------	--

できていない点	<p>① 文書のみで情報共有を行った場合、職員の経験年数や知識の差から共通認識が不十分なことがあります。</p> <p>② 特になし。</p> <p>③ 特になし。</p> <p>④ 利用者と家族・介護者との関係に応じて相談援助しているため、ケースによっては家族・介護者まで相談援助が及んでいない事があります。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>① 利用前に、ミーティングを開催し、共通認識と理解を深めてサービス提供していきます。</p> <p>② 特になし。</p> <p>③ 特になし。</p> <p>④ 本人と家族の希望にそって必要な相談援助の機会を設けていきます。また、職員各自が状態把握に努め、報告できるようになることで家族と事業所との信頼関係の構築に努めていきます。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画
<input type="checkbox"/> 情報収集からアセスメント、計画作成までのプロセスを全職員が理解しておく必要があり、今後、研修やOJT(日常業務内での教育)したり、そのプロセスに計画作成担当者以外も関わりながら計画作成をできるようにしていきます。 <input type="checkbox"/> 職員へは可能な限りミーティングに参加するようにします。また、参加できなかった職員もミーティングの記録(会議録)で、話し合った内容が十分に伝わるように会議録の書き方や伝達方法を工夫します。
前回の改善計画に対する取組み結果
<input type="checkbox"/> 事前情報を基にして、利用前までに介護・看護職員の意見も取り入れたサービス計画書の作成を行っています。 <input type="checkbox"/> 勤務の都合上ミーティングに参加できなかった職員へも、すぐに議事録にて内容を共有しています。話し合った内容を十分に理解できるように、疑問点については管理者が随時話し合いにより解決しています。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2 人	10 人	2 人	— 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2 人	10 人	2 人	— 人	14 人
③	本人の当面の目標「～したい」をめざした日々の関わりができていますか?	2 人	9 人	3 人	— 人	14 人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3 人	5 人	5 人	1 人	14 人

できている点
① 目標を明確にし、サービス計画書に記載して職員への周知を行い、職員はサービス計画書に目を通すことで、目標を把握する事ができています。不明な点については、計画作成担当者を確認し、理解を深めています。 ② 利用前までに本人と家族の意向に沿って、サービス計画書を作成し、全職員へ周知していることで実践することができています。 ③ サービス計画書に沿ったケアの提供をすることができています。また、短期目標終了月には全職員で評価を実施し、次回サービス計画書へ反映することができています。 ④ ミーティングや日々の申し送りの中で、実践した内容を話し合い、変化があっても職員全員で対応できるよう情報共有しています。

できていない点
① 勤務の都合によって、サービス計画書の確認が遅れることがあります。 ② 職員の知識や経験の差によって、サービス計画書の閲覧だけでは、情報共有が不十分なことがあります。 ③ 利用者によっては、意欲低下や認知症によって「～したい」の訴えがないことがあります。 ④ ミーティング等で、全員が発言できていないことがあります。

次回までの具体的な改善計画
① 勤務の都合に関わらず、本人と関わる前にサービス計画書の把握を行います。 ② 申し送りの時間を利用して、職員各自が理解できるよう積極的に質問や情報収集を行っていきます。 ③ 意欲低下や認知症で「～したい」の訴えがない利用者にも、積極的に関わることで目標を見つける支援を行っていきます。 ④ 気づきや関わった内容について、積極的に発言することで状態の変化にも即時的に対応できるチームにしていきます。また、資格や経験に関係なく、各職員が発言できる職場・ミーティングの雰囲気を作っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	1 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画	
<input type="checkbox"/> 本人や家族との日々のかかわりをより密にし、良い関係を構築することで、より多くの情報を収集できるようにしていきます。また、その情報は、ミーティング等で共有していきます。 <input type="checkbox"/> ミーティング・ケアカンファレンス等において、本人の様子や状態などの気付きを言語化していきます。その中で、各職員がご本人の声にならない声を言語化することを学習し、日々の申し送り等でも言語化できるよう取り組んでいきます。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<input type="checkbox"/> アセスメントの段階から情報収集の強化と、チームでの情報共有に努めましたが伝達方法によって情報共有が不十分だったことがあります。 <input type="checkbox"/> ミーティング等で職員各自が気付いた変化に対してもチームで情報共有することによって、利用者の声にならない声ができる限り言語化して対応することができました。	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし」が10個以上把握できていますか?	1 人	5 人	7 人	1 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基本的な介護ができていますか?	6 人	7 人	1 人	— 人	14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1 人	11 人	2 人	— 人	14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか?	6 人	8 人	— 人	— 人	14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5 人	9 人	— 人	— 人	14 人

できている点	
①アセスメントの段階から、生活歴等の情報収集を行い、暮らしの継続性を意識しながら、サービス提供を行っています。 ②アセスメントやサービス計画書を基に、本人の残存能力を活かしながら、希望にそってケアを行うことができています。 ③ミーティングに限らず、日々の申し送りの中でも本人の状態に合わせて、対応を変更したりと即時的な対応を心がけています。 ④日々の申し送りやの中で本人の変化について情報共有や対応を検討する事で職員間の情報共有ができています。 ⑤共有した情報によって、多職種が連携を取り、即時的な対応をすることができています。	

できていない点	
①以前の生活環境や、現在の本人の置かれている状況により、情報収集が困難なことがあります。 ②特になし。 ③知識や経験の差によって、本人の声にならない声を言語化することができない事もあります。 ④特になし。 ⑤特になし。	

次回までの具体的な改善計画	
①アセスメントの閲覧をし、その生活歴を箇条書きで記載することにより、職員も情報を把握しやすいように工夫します。 ②特になし。 ③職員各自ではなく、チームとして本人に関わることで知識や経験によって、対応に差が生じないよう言語化した情報を共有していきます。 ④特になし。 ⑤特になし。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	— 人	5 人	5 人	4 人	14/14 人

前回の改善計画	<input type="checkbox"/> 本人が認知症や障害のある状態になっても、希望に応じて地域との関係性が継続していけるよう地域の民生委員との関係づくりの支援を行っていきます。 <input type="checkbox"/> 利用者の今の暮らしに必要な民生委員や地域資源等の把握をし、希望に応じて支援・活用していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<input type="checkbox"/> 心身の状態や希望に応じて地域の社会資源の活用を行っています。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1 人	7 人	5 人	1 人	14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか？	1 人	7 人	5 人	1 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2 人	7 人	2 人	3 人	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域資源等を把握していますか？	— 人	2 人	4 人	8 人	14 人

できている点	<p>①本人と会話をしたり、アセスメントの機会を利用して情報収集することで、生活スタイルや人間関係を理解するようにしています。</p> <p>②電話や面会の機会を通じて、本人と家族の関係性が維持できるよう報告等を適宜行っています。また、家族の心配ごとにも親身になって傾聴することで本人の状態を受け入れることができるよう支援しています。</p> <p>③電話や面会、モニタリングと本人からの聞き取りの機会を通じて事業所が関わっていない時間帯の様子の把握を行っています。</p> <p>④希望や意向に沿って、地域の社会資源の活用ができるよう把握に努めています。また、事業所の掲示板を利用して情報提供を行っています。</p>
--------	---

できていない点	<p>①以前の生活環境や、現在の本人の置かれている状況により、情報収集が困難なことがあります。</p> <p>②利用者によっては、地域との関係性の継続を望まない方がおられます。</p> <p>③事業所が関わっていない時間帯の様子の情報を共有できていない事があります。</p> <p>④併設事業所のサービス付高齢者向け住宅に入居中の方が多いため、地域の社会資源の活用の希望があまりありません。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>①アセスメントの情報を共有しながら、関わる職員も日々のケアの中で得た情報を全職員で共有していきます。</p> <p>②希望や意向に沿って地域との関係性が継続していけるよう連絡調整等の支援を行っていきます。</p> <p>③記録や日々の申し送り、ミーティング等を通じて、情報の共有を必要に応じて行っていきます。</p> <p>④希望や意向に沿って地域の社会資源が活用できるように、行政からの情報収集などによって地域の社会資源の把握に努めます。また、得た情報を書面によって職員間でも共有していきます。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	8 人	5 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画	<input type="checkbox"/> 併設しているサービス付き高齢者向け住宅の入居者以外の方の登録も受け付けており、登録があった場合には、必要に応じて「宿泊」のサービス提供も行っていきます。 <input type="checkbox"/> 地域資源を把握し、利用者の意向に沿って、地域資源の活用が出来るような支援を行っていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<input type="checkbox"/> 「宿泊」のサービス提供を希望される利用者がおられませんでした。 <input type="checkbox"/> 希望や意向に沿って、地域の社会資源が活用できるよう付き添いや、連絡調整などの支援を行う事ができました。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1 人	5 人	5 人	3 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2 人	9 人	3 人	— 人	14 人
③	日々の関わりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することが出来ていますか？	3 人	10 人	1 人	— 人	14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援が来ていますか？	3 人	9 人	2 人	— 人	14 人

できている点	①希望や意向に沿って、外出介助での地域の社会資源の活用のための支援を行っています。 ②本人・家族の希望と本人の状態を考慮し、適切にサービス提供を行っています。 ③ミーティングに限らず、日々の申し送りの中で「変化」について意見を出し合い、随時対応をしています。また変化に応じたサービス提供についても随時検討をしています。 ④本人の状態を職員や家族・本人からの聞き取りで把握し、その状態やニーズに合わせて柔軟にサービス提供しています。
--------	--

できていない点	①本人が地域の社会資源の活用を希望されない場合は、併設のサービス付き高齢者向け住宅の身体介護サービスや生活支援サービス等の自費のサービスで対応することがあります。また、職員によって、地域の社会資源の捉え方に差があり、活用支援ができていないと判断することがありました。 ②小規模多機能居宅介護利用者の多くが併設のサービス付高齢者向け住宅の入居者であるため、宿泊のニーズが無く稼働することがありませんでした。 ③特になし。 ④本人と家族のニーズに差があり、本人の状態によっては家族のニーズを優先することがあります。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	①地域の社会資源の活用状況を、運営推進会議やミーティング等で報告し、参加できなかった職員へも書面と口頭での伝達で報告していきます。 ②宿泊を希望される利用者がある時には、適切にサービス提供していきます。 ③特になし。 ④できる限り本人のニーズに沿って対応できるよう、事業所は家族へ本人のニーズを伝える役割を担い、本人のニーズに沿って生活が送れるように支援していきます。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

6. 連携・協働

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	— 人	5 人	7 人	2 人	14/14 人

前回の改善計画
<input type="checkbox"/> サービス機関を交えた会議を行った場合には、その内容の記録等によって職員へ伝えていきます。 <input type="checkbox"/> 地域の活動やイベントの情報を市や各種団体から得るようにし、利用者への情報提供や参加の支援を行っていきます。 <input type="checkbox"/> 地域の活動やイベントに参加していくことで、ご本人や職員と地域の方が、なじみの関係性を築き、地域の方が訪れやすい事業所にしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
<input type="checkbox"/> サービス機関を交えた会議を行った時は、記録や書面によって伝達を行いましたが、伝達の方法や内容によって伝達が不十分な事がありました。 <input type="checkbox"/> 行政や自治体からの情報を掲示板を使って提供しました。 <input type="checkbox"/> 行事への参加の支援の為に勤務を調整しましたが、天候不良などで参加できませんでした。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか？	3 人	4 人	2 人	5 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2 人	2 人	1 人	9 人	14 人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	— 人	2 人	2 人	10 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れていますか？	— 人	5 人	3 人	6 人	14 人

できている点
①定期的又は随時利用者の状態の変化に合わせて、必要なサービス機関を交えた会議を行っています。また、参加できない機関については、照会にて専門的な意見の収集を行っています。 ②事業所として参加の要請があれば、参加します。 ③事業所として参加の要請があれば、参加します。 ④登録者を通じて、利用者以外の地域の方へも事業所へ来ていただくことができました。

できていない点
①会議へ参加できなかった職員への周知が不十分で情報を共有できていない事がありました。 ②参加の要請が無かったため、参加できませんでした。 ③職員の勤務の都合や行事の中止や延期により参加できない事がありました。 ④職員の勤務の都合により、地域の方が訪れている事を把握できていない事があります。

次回までの具体的な改善計画
①会議へ参加できなかった職員へは、会議の要点を議事録により情報提供を行っていきます。また、職員各自でも提供された情報だけで不十分な点は積極的に情報収集を行っていきます。 ②会議への参加ができるように、事業所として「隣組」への加入を検討します。 ③地域の行事を把握し、勤務調整することでイベントにも利用者が参加できるよう支援します。 ④事業所の雰囲気作りと来客者へ丁寧な対応を行うことで、今より地域の方が訪れやすい事業所を目指します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

7. 運営

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	— 人	12 人	2 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画
<input type="checkbox"/> ミーティングの機会を利用し、事業形態や制度、専門職としての知識の習得を行っていきます。また、その中で、事業所のあり方についても学んでいきます。 <input type="checkbox"/> ご利用者からの意見に対して統一した対応ができるよう、ミーティングや書面によって伝達していきます。 <input type="checkbox"/> 地域の方々からの意見も運営に反映するため、ご意見箱を設置します。
前回の改善計画に対する取組み結果
<input type="checkbox"/> ミーティングのみならず、法人内部や外部研修へ積極的に参加することで知識の習得を行うことができました。 <input type="checkbox"/> ご利用者からの意見に対して、日々の申し送りやミーティングの機会を利用し対応を書面によって統一することができました。 <input type="checkbox"/> 運営推進会議を通して得た意見を、積極的に取り入れて運営することができましたが、職員への情報提供が不十分でした。また、地域の方々からの意見を運営推進会議で得ていたため、意見箱を設置することができていませんでした。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	2 人	7 人	3 人	2 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2 人	9 人	2 人	1 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1 人	5 人	3 人	5 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点である為に、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	— 人	3 人	4 人	7 人	14 人

できている点
①ミーティングの機会を通して、事業所のあり方について意見をいう事ができている。 ②意見や苦情に関しては、日々の申し送り等で情報共有し、即時的に対応を検討することができています。 ③運営推進会議で得た地域の方からの意見を取り入れ運営へ反映することができています。 ④災害時の情報等を運営推進会議を通して、地域の方へ知らせることで災害時の協働した取り組みについて話すことができています。

できていない点
①知識や経験の差から意見をいう事ができていない事があります。 ②苦情がなかったため、対応する機会がありませんでした。 ③地域からの苦情がなかったため対応する機会がありませんでした。 ④運営推進会議での協働の内容を議事録によって職員へ周知していましたが、情報共有が不十分なことがありました。

次回までの具体的な改善計画
①知識や経験の差に関わらず職員の意見を積極的に取り入れることにより利用者にとって頼りになる事業所を目指します。 ②利用者、家族・介護者からの意見や苦情をより多く得るために、意見箱を設置します。 ③運営推進会議で出た地域の意見を運営に反映している事を、議事録によって職員も把握していきます。 ④事業所のミーティングを通して、運営推進会議での協働の内容を職員へも周知していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

8. 質を向上するための取り組み

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	6 人	— 人	14/14 人

前回の改善計画	<input type="checkbox"/> 法人内研修に参加できなかった職員へフォローアップが実施できていない職員へは、声かけを行ったり、ミーティングの場を活用して、フォローアップができるように取り組んでいきます。
前回の改善計画に対する取り組み結果	<input type="checkbox"/> 法人内研修へ参加できなかった職員に対して、資料を基にした伝達講習や研修DVDでフォローアップの準備を行っていたが、明確に機会を設けることができませんでした。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	2 人	5 人	6 人	1 人	14 人
②	資格の取得やスキルアップの為の研修に参加できていますか？	4 人	6 人	3 人	1 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか？	— 人	— 人	— 人	14 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	3 人	5 人	4 人	2 人	14 人

できている点	①月に一回以上法人内研修を開催し、事業所は開催と参加で関わることができています。また参加できなかった職員に対してもフォローアップの研修を行っています。 ②法人内研修に限らず、希望があれば積極的に外部研修へも参加することができています。 ③特になし。 ④事故防止委員会を設置し、事故予防を目標にヒヤリハット報告書を提出することに取り組むことができています。
--------	--

できていない点	①職員の勤務の都合により、研修に参加できない事があります。 ②職員によっては、外部研修の情報がわからない事があります。 ③地域連絡会が開催されていないため参加することができていません。 ④職員によって、ヒヤリハット報告書の提出枚数に差がある事があります。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	①参加できなかった職員へのフォローアップを資料を基にした伝達講習や研修DVDで行うことで知識の習得に努めていきます。 ②情報を事業所内で回覧できるようにすることで外部研修へも積極的に参加ができるようにしていきます。 ③地域連絡会に参加できるよう、「隣組」の加入を検討し、積極的に地域との関わりを持っていきます。 ④職員へのリスクマネジメント研修を行い、ヒヤリハットによる事故防止の取り組みについて学習する機会を設けることで事故予防に努めていきます。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 18 日 (18:00～ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー —

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	4 人	1 人	14/14 人

前回の改善計画	<input type="checkbox"/> 成年後見制度に対する法人内研修を継続し、事業所の職員へ参加を促します。 <input type="checkbox"/> 事業所内へ成年後見制度に関する資料が設置されており、職員へその資料の設置の周知及び資料での学習を行っています。
前回の改善計画に対する取組み結果	<input type="checkbox"/> 成年後見制度に対する法人内研修を開催し、参加することができています。 <input type="checkbox"/> 成年後見制度に関する資料を設置することで、知識の習得を促すことができています。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12 人	2 人	— 人	— 人	14 人
②	虐待は行われていない	9 人	5 人	— 人	— 人	14 人
③	プライバシーが守られている	5 人	9 人	— 人	— 人	14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2 人	3 人	4 人	5 人	14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5 人	8 人	1 人	— 人	14 人

できている点	①認知症や障害の程度に関わらず、身体拘束を行わずに代替的なケアで対応することができています。身体拘束廃止委員会でも具体的な事例を基に対応を検討しています。 ②職員へも研修を行うことで、虐待に関する知識の習得に努め、虐待防止に取り組むことができています。 ③日々のケアの中でも、プライバシーに配慮することができています。 ④必要に応じて成年後見制度の活用を行うことができています。事業所でも職員が成年後見制度についての知識が習得できるよう研修の実施と関連資料を利用して情報提供しています。 ⑤個人情報適切に管理できるように職員各自、守秘義務に努めています。個人情報保護に関して研修で知識を習得し、情報漏えいがないように記録物の管理を行っています。
--------	--

できていない点	①特になし。 ②特になし。 ③特になし。 ④成年後見制度を利用している利用者を職員全員が把握できていないことがあります。 ⑤特になし。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	①特になし。 ②特になし。 ③特になし。 ④ミーティングの機会を利用して利用者が成年後見制度の活用が必要かを検討していきます。また、職員各自も成年後見制度について把握しておきます。 ⑤特になし。
---------------	---